



校報

水糸者

No. 1308

元年度・第167号

3月の種市小学校のテーマは、

「1年を振り返り成長を喜ぶ月」

「がんばった事」、「できるようになった事」、「思い出に残っている事」を確認する月

来週から弥生3月。今年度の登校日数は今日も含め、あと16日間（1～3年生は15日間）となりました。

3月は、その学年で学ぶことをしっかりと学び直しをする月でもあります。その事を通して、より強固な学力が身に付く他に、やり遂げた自信や誇り、達成感を味わう事で「自己肯定感」も確実に身に付いてきます。

進学・進級の月となる、大切な学年末を子ども達は寸暇を惜しんでがんばっています。

そんな3月の本校統一テーマには、この1年間の学習や生活の頑張りを振り返り、できた事や頑張った事の喜びを、「個々に気づかせる」とともに、みんなで「わかちあう」月にしていくことで、「達成感」と「充実感」が高まり、より良く生きていくための「自己肯定感」が満ち、それが次学年への希望と意欲となっていくようにという願いが込められています。

1月29日発行の校報1289号でも紹介した通り、25年度の町教育振興大会（26.2.1）でアグネス・チャンさんはその講演『未来を担う子どもを育てる』の中で、「自分に誇りがある子には心に余裕がある。だから、人の喜びも自分の喜びに感じられる。そして謙虚になれるし失敗を恐れない人になる、弱い子を助け、励ましてくれる人…。



しかし、心に余裕がない場合は他人のせいにする子となり、『言い訳人生』を送る。」と語っていました。

また、以前NHK教育放送で放映されていた『楽観脳と悲観脳』のマイナス思考や言い訳ばかりの、悲観脳も持ち主にならないように、自信と誇りを育み、「自己肯定感」を高めていける3月にしていきたいものです。3月も家庭からのご理解とご協力をお願いいたします。

…今年度最終回の休日支援事業「子どもたちを支援する会」のご案内…



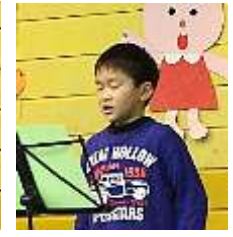
今年度最終回となる、2月29日の内容は『チャレンジ・クッキング』です。

詳しいことは既にお配りした文書をご覧ください。今回も、触覚・聴覚・味覚・視覚・嗅覚といった『五感』を刺激する、楽しく脳の発育にも良い活動となることでしょう。支援する会の皆さん、今回もよろしくお祈りいたします。



26日に、宿戸小学校で「ことばの教室・修了式」がありました。ことばの教室でこの1年間学んで来た本校の5名の子ども達は、この一年間の通級学習の成果をかみしめながら、みんなの前で堂々と披露していました。

1年間の頑張りの成果を披露する種小っ子。大きな声で音読する姿から、1年間の学習で得た「自信」が伝わってきました。



昨年度までは、宿戸小学校へ行っての「ことばの学習」でしたが、今年度からは宿戸小学校のことばの教室の先生が、本校に来て子ども達を指導する方式に変わりました。

この事で、週に1～2時間程度の「ことばの学習」が大変受け易くなっただけでなく、ことばの教室の先生と本校の各学級担任との情報交換も十分にできるようになり、指導の効率も向上しました。

ことばの教室に通い、「話すことが楽しくなった」、「発音しやすくなった」、「話す事が苦でなくなり、おしゃべりになった」、「音読が得意になった」などの感想をよく聞きます。

このように、ことばの教室で学んだことは、確実に成果となって実を結びます。

「ほっておいても成長に伴い直るから大丈夫」というのは誤りです。低学年のうちからことばの教室にきちんと通うことで、たくさんの成果を得ることができるのです。

ことばの教室に関する問い合わせや相談がある保護者は、お気軽に本校の担当〔副校長か山下〕までお問い合わせください。（電話 65-2128）

…受賞、おめでとう！…

～令和元年度 久慈地区幼少年婦人防火委員会表彰・クラブ員表彰～

安藤 佑さん（種市中央少年消防クラブ・6学年）

年度末にも種小っ子の受賞の便りが届きました。
いいぞ、種小っ子！

表彰式は、3月26日(木)に久慈市防災センターにおいて行われる予定です。おめでとうございます！



7月の祝賀会での安藤 佑さん